

# 10 相模川水系上流域対策の推進

## I どのような事業か

### 【事業の概要】

相模川水系の県外上流域において、神奈川県と山梨県が共同して、効果的な保全対策（森林整備や生活排水対策）を実施。

### 【第2期5か年の新たな取組】

相模川水系の集水域のほとんどが山梨県内にあり、第1期において実施した山梨県内の現況調査の結果、森林の6割が荒廃し、アオコの原因であるリンのほとんどが山梨県内から流入している実態が判明したことから、県外対策の必要性が明確となった。この調査結果に基づき、両県で対策を検討したところ、山梨県内の森林整備と生活排水対策について、従来の取組を加速させる必要があり、加速する取組を両県が共同で実施する。

### 1 ねらい

相模川水系の県外上流域における水源環境保全・再生の取組の推進を図る。

### 2 目標

相模川水系の県外上流域において、神奈川県と山梨県が共同して、効果的な保全対策を実施する。

### 3 事業内容

相模川水系の県外上流域対策について、第1期計画において実施した相模川水系流域環境共同調査の結果を踏まえ、神奈川県と山梨県が共同して効果的な保全対策を実施する。

#### ① 森林整備

荒廃した森林を対象に、間伐や間伐に必要な作業道等の整備等を両県が共同事業として実施する。費用負担については、事業費（国庫支出金を除く）の1/2ずつ負担する。

#### ② 生活排水対策

桂川清流センターにおいて、リン削減効果のある凝集剤による排水処理を両県が共同事業として実施する。費用負担については、次のとおり。

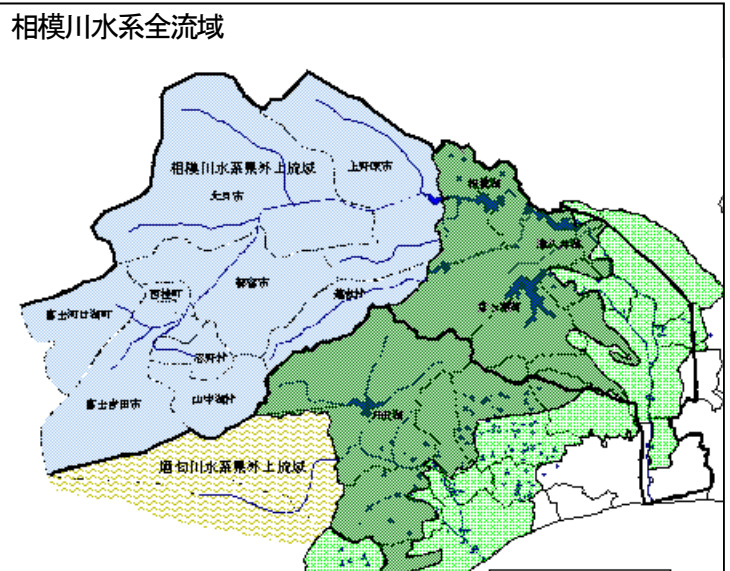
【神奈川県】 凝集剤添加設備の設計、建設、修繕及び維持管理（薬品代、汚泥処分費）に係る費用

【山梨県】 維持管理（人件費、電気料）に係る費用

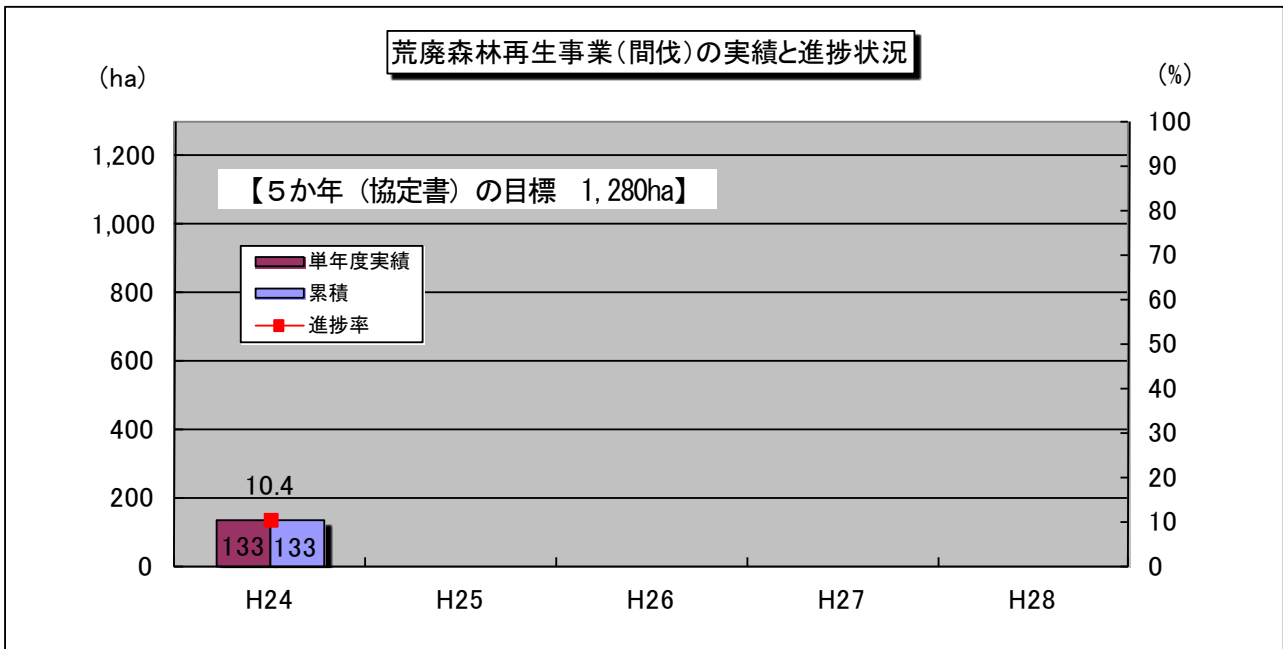
### 4 事業費

第2期計画の5年間計 3億6,500万円（単年度平均額 7,300万円）  
うち新規必要額 3億6,500万円（単年度平均額 7,300万円）

※ 水源環境保全税により新規に取り組むこととなった事業

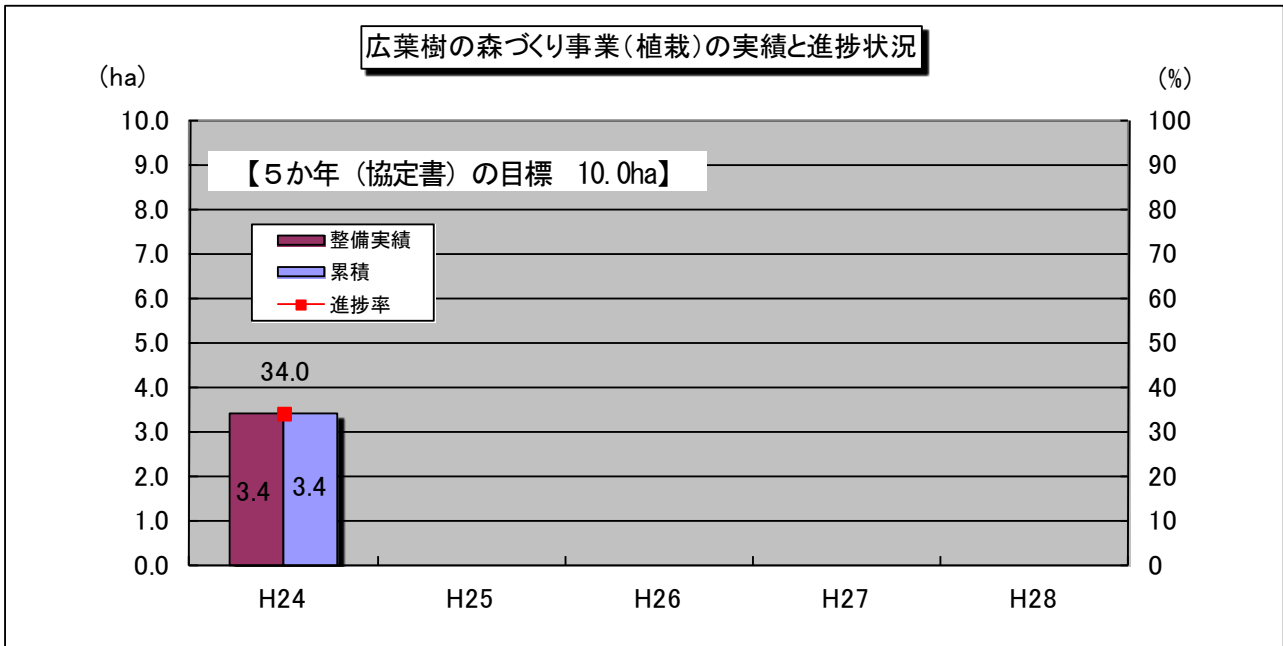


## II 平成 24 年度の実績はどうだったのか

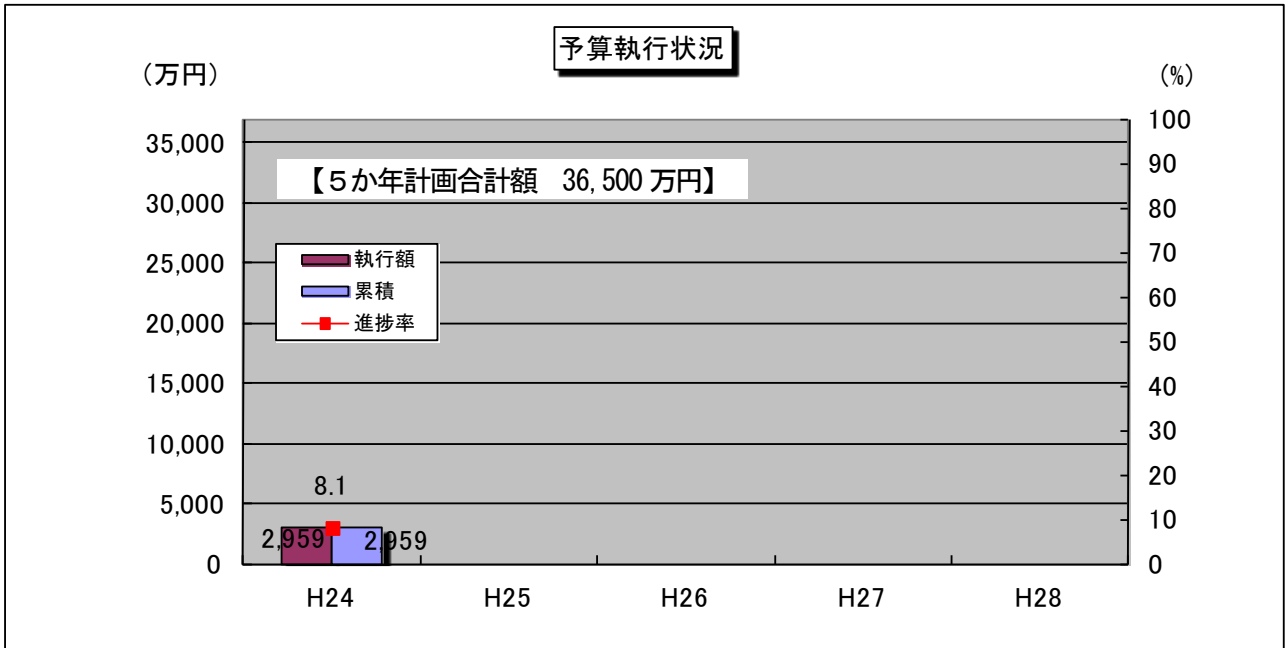


◇平成 24 年度は、山梨県が 133ha の間伐を実施した。(進捗率 10.4%)

【参考】1ha(ワール) = 10,000㎡  
 例えば、横浜スタジアムのグラウンド面積は 13,000㎡ = 1.3ha です。



◇平成 24 年度は、山梨県が 3.4ha の広葉樹の植栽を実施した。(進捗率 34.0%)



◇平成24年度は、2,959万円を執行した。(進捗率8.1%)





荒廃森林再生事業（山梨県大月市七保町瀬戸）



<整備前>



<整備後>

広葉樹の森づくり事業（山梨県都留市佐渡林）①



クリ、コナラなどの広葉樹を植栽し、獣害防除ネットで保護している

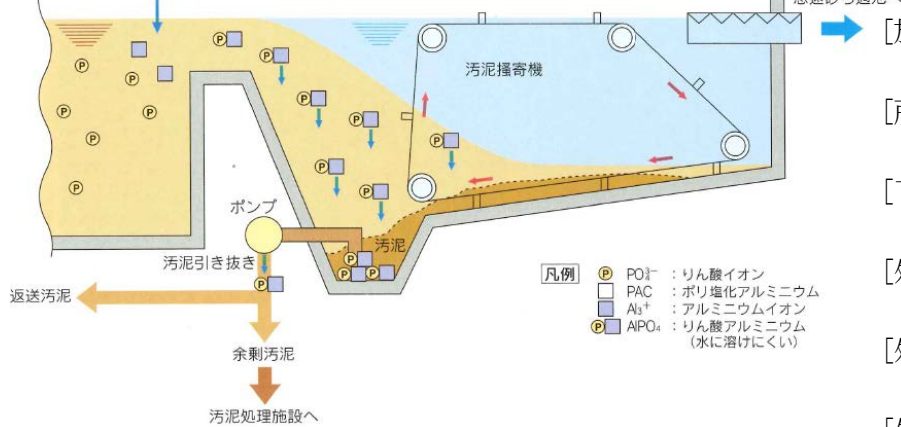
広葉樹の森づくり事業（山梨県都留市佐渡林）②



## 生活排水対策

■ 生物反応槽 最終沈澱池：図2

□ ポリ塩化アルミニウム(PAC)



[施設名称]

桂川清流センター

[所在地]

山梨県大月市梁川町塩瀬 800

[下水排除方式]

分流

[処理方法]

標準活性汚泥法

[処理能力]

15,000 m<sup>3</sup>/日 (日最大)

[処理水量]

平均 6,500 m<sup>3</sup>/日 (平成 23 年度)

[放流水の目標全リン濃度]

0.6 mg/ℓ

## 【事業実施箇所図】 (平成 24 年度実績)



◇ 対象区域の森林において、間伐、広葉樹の植栽等を実施した。

**1 事業実施状況** (実施主体：神奈川県、山梨県)

① 森林整備

対象区域の森林において行う間伐、広葉樹の植栽、これらと一体として行う獣害防除、間伐に必要な森林作業道の開設等を実施する。

【荒廃森林再生事業】

	24年度実績
間伐	133ha

【広葉樹の森づくり事業】

	24年度実績
広葉樹の植栽	3.4ha

② 生活排水対策

桂川清流センターに設置する凝集剤添加設備の実施設計を実施した。

**2 5か年計画進捗状況**

	5か年の目標 (協定書による)	24年度実績 (進捗率)	25年度計画
間伐	1,280ha	133ha (10.4%)	272ha
広葉樹の植栽	10.0ha	3.4ha (34.0%)	2.0ha

**3 予算執行状況 (単位：万円)**

5か年計画 合計額	24年度執行額 (進捗率)	25年度予算額	第1期実績 (進捗率)
36,500	2,959 (8.1%)	13,633	7,594 (77.5%)

### Ⅲ 事業の成果はあったのか

#### 総括

第2期5か年計画の5年間の目標事業量(協定書による)に対し、初年度となる平成24年度の進捗率は、荒廃森林再生事業において10.4%、広葉樹の森づくり事業において34.0%。

また、生活排水対策については、平成24年度は、桂川清流センター(山梨県大月市の下水処理場)に設置するリン削減効果のある凝集剤添加設備の実施設計が行われており、平成26年度以降の本格稼働に向けて、今後の建設作業等の着実な実施が期待される。

今後、事業を進めていく上で、上流域との交流に資する情報や場を提供するとともに問題意識を共有し、長期的に協働関係を強化することが大切である。

#### ○県民会議委員の個別意見

- ・ 今後のモニタリングを期待したい。

#### 1 点検・評価の仕組み

水源環境保全・再生施策の各事業の実施状況について検証するため、点検・評価の仕組みに基づき、①事業進捗状況、②モニタリング調査結果、③事業モニター意見、④県民フォーラム意見の4つの視点から評価するとともに、総括コメントを作成して点検を行った。

#### 2 事業進捗状況から見た評価

水源の森林づくり事業の平成24年度実績の進捗率は、①間伐は10.4%、②広葉樹の植栽は34.0%であった。5年間の数値目標を設定している事業であるため、進捗状況は、①間伐がDランク、②広葉樹の植栽がAランクと評価される。

<5年間(平成24~28年度)の数値目標を設定している事業>

平成24年度の実績	ランク
目標の20%以上	A
目標の16%以上20%未満	B
目標の12%以上16%未満	C
目標の12%未満	D

#### 3 事業モニタリング調査結果

##### (1) モニタリング実施状況

モニタリング調査については、山梨県と実施方法を協議しており、決定し次第実施する。

##### (2) モニタリング調査結果

モニタリング調査については、現在、山梨県と実施方法を協議しているため、平成24年度は実施していない。

#### 4 県民会議 事業モニター結果

平成24年度は事業モニターを実施していない。

#### 5 県民フォーラムにおける県民意見

(「県民フォーラム意見報告書」等(P13-1~)に記載。)